

園庭の自然が豊かになってきた 4 月頃から、虫探しに夢中になってきた子どもたち。プランターの下や花壇の植え込みからダンゴ虫を見つけては砂場道具に集め、その多様な動きを見て楽しんでいました。

6 月になり、プランターのピオラの葉を食べている黒とオレンジ色の幼虫を発見しました。

「先生!! これ毛虫だよね!?!」「やつけた方がいいよね!?!」と、その見た目のとげとげしさに子どもたちはスコップを持ってきて興奮していました。「なんの幼虫だろうねえ」と、あえて答えは言わずに飼育ケースに入れて、その様子を観察することにしました。



これは毛虫?



アゲハ蝶ではないみたい



幼虫は 2 日後サナギになりました。変化に気付いた子はすぐに友だちに知らせ「金色の模様があるね!!」と会話も弾み興味津々です。

年少さんは『はらぺこあおむし』を連想し「さなぎになって何日も眠りました～」と歌っていました。年長さんは、園にある図鑑や本をみて、どんな蝶が出てくるのか、どうやって出てくるのか様々な意見を出し合っています。

10 日後…

ちょうになった!!



玄関前を通る度に、サナギの様子を確認して、蝶の誕生を心待ちにしていました。サナギになって 10 日後、ついに蝶になりました。「きれいな羽だね!!」「羽の色がだんだん変わってきたよ!!」「ツマグロヒョウモンっていうんだね～」「この模様はメスだね」といつまでも観察をしていました。その日の夕方、「先生、この中では飛べないよね?」「お外に飛ばしてあげる?」と子どもたちの声を聞き、その場にいた子どもたちが見守る中、ケースの蓋を外しました。蝶はすぐには飛び立たず、羽をぶるぶるっとぶるわせていました。そして、ひらひら～っと嬉しそうに大空に羽ばたいていきました。この瞬間、子どもたちも私たちも「わあ～っ!!」と歓声をあげ「また来てね～」と蝶の姿が見えなくなるまで手を振りました。

とべるかな



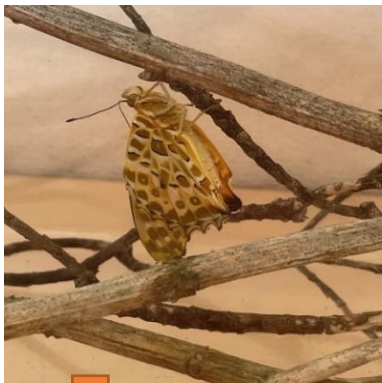




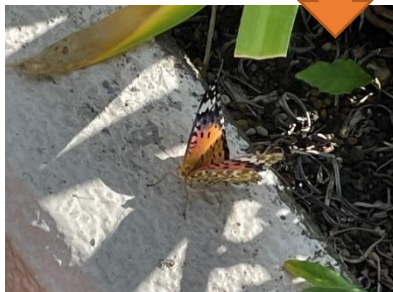
わあ〜っ!!

幼虫から蝶になるまでの一連の体験を通して、見たことや感じたことを言葉で表現したり、疑問を自分たちで考えたりする姿が見られるようになりました。それと共に、蝶に対する愛着もどんどん湧いてきて、ちょっぴり苦手だった子も興味を持ち、さらにいろいろな生き物にも関心を持つようになってきました。サナギがくねくねと動く驚きや不思議さが好奇心や探究心を引き出し、蝶になって飛び立つ感動体験が心を動かし、学びを深めていくのだと思いました。このような自然との出会いをこれからも大切にしていきたいです。

ツマグロヒョウモン



かわいいね〜



西側の花壇